

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日9月16日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、9月23日（火曜日）からです。

『あれこれ考えすぎて“動けない人”のための問題解決術』

倉成 央／著、大和出版／刊、請求記号：146.8/ Ku,51

内容：何かをやろうと思っても、心配や不安が大きくて、やろうとすることにブレーキがかかってしまう人が、どのように心配や不安とさよならするのかについてのノウハウを、物語形式で解説する。

著者紹介：(株)メンタルサポート研究所代表、博士(学術)、九州女子大学非常勤講師、放送大学非常勤講師、山の手クリニックカウンセラー、臨床心理士、認定心理士、産業カウンセラー。

『西洋珍職業づくし』

ミヒヤエラ・フィーザー／著、悠書館／刊、請求記号：366.2/ V,68

内容：移動貸しトイレ業、蟻の蛹採り、砂売り…。今では姿を消してしまった数々の職業の背後にどんな仕事か、どんな日常か、そして社会のどんな発展が隠されていたのか?数奇な運命をたどった西洋珍職業の秘密を解き明かす。

著者紹介：1972年生まれ。ロンドンのSOASで日本学及び東洋美術史を学ぶ。修了後、東北大学で日本美術史を専攻。6年に亘り日本に滞在、国際メディアのジャーナリスト兼プロデューサーとして働く。

『大地震』

宇佐美 龍夫／著、吉川弘文館／刊、請求記号：453.2/ U,92

内容：大地震が同じ震源域で起きる間隔は人の一生より長い。過去の状況を知るには歴史資料の活用が不可欠となる。最新の研究成果から、歴史地震の被害や震源・震度分布・防災対応を検証。巻末に被害地震年表(江戸時代末まで)付き。

著者紹介：1924年東京生まれ。東京大学理学部卒業。同大学名誉教授。理学博士。著書に「地震と情報」「東京地震地図」など。

『ちひろさんと過ごした時間』

黒柳 徹子 ほか／著、新日本出版社／刊、請求記号：726/ Ku,78

内容：家族や親せき、友人、画家仲間、編集者…。画家いわさきちひろの女学生時代から55歳の早すぎる死まで、人生の折々に彼女と出会い、ともに生きた人々の証言を中心にまとめる。ちひろが残した絵も掲載。

著者紹介：女優、ユニセフ親善大使。ちひろ美術館東京・安曇野両館の館長を務める。

『「大人の日本語」養成講座』

野内 良三／著、大修館書店／刊、請求記号：810/ N,91

内容：目上の人とちゃんと会話ができますか？ 自分の考えをきちんと表現できますか？ 自分の意見をしっかりと主張できますか？ 「大人の日本語」をマスターできるように、話し方・書き方・説き方の「かた」を教えます。

著者紹介：1944年東京生まれ。東京教育大学大学院文学研究科博士課程中退。関西外国語大学教授等を歴任。専門はフランス文学、レトリック。著書に「レトリックのすすめ」「日本語作文術」など。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp